

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

養父市長

市町村名 (市町村コード)	養父市 (28222)	
地域名 (地域内農業集落名)	おおや高原9号団地 (宮垣)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月10日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

おおや高原9号団地3.8haを対象とする。
畜産団地として認定農業者4名、認定新規就農者1名で約700頭の和牛を飼育している。
牧草地の鳥獣被害があり、金網柵設置などの鳥獣被害対策を検討する。

(2) 地域における農業の将来の在り方

畜産団地として引き続き、和牛の飼育を行っていく。
和牛の増頭拡大を目指す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	3.8 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	3.8 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地及び現在耕作している農地とその周辺農地を農業上の利用が行われる農用地等の区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、地域計画の見直しを行い、地域内の農業者で協議し、農地を維持していく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地の貸借については、農地中間管理機構を通じて行っていく方針。
(3)基盤整備事業への取組方針
現状の維持管理を行っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
現状の農家数を維持する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣被害防止対策
金網柵設置などの鳥獣被害防止対策を検討する。